

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。  
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。  
(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

## 適用作物と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	使用目的	使用方法	総使用回数※
花き(きく、ゼラニウム等) 庭園樹(まさき、じんちょうげ、あおき等) 林木(すぎ、ひのき、メタセコイヤ等)	挿木(挿苗)時 処理して発根 を促進する。	1)挿木(挿苗)の基部を3cmぐらい水にひたしその部分にうすい層になって付着する程度に粉のまままぶす。 2)あるいは本剤を適当量の水でペースト状にねってから挿木の切り口にぬりつける。日陰干で乾燥してから挿す。この場合挿木(挿苗)にあまり多量に厚く塗布しないようにすること。 上記の方法で処理し挿しおわたたら周囲に土をかけてよく固めておくこと。	-

### 効果・薬害等の注意

- 食用作物には使用しないでください。
- 挿木に粉末のまままぶす場合も、ペースト状にしてぬりつける場合も多量に過ぎないように注意してください。
- すぎの挿穂の場合、処理適期は挿穂の新芽が米粒大になるまでの間に挿木することが望ましく、3月～4月中旬頃が最適です。
- 使用に際しては、本剤は植物成長調整剤であるので、使用時期、使用量、使用方法など誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

## 薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)